

2021年春 準備教育 大学院プログラム実施要項（連携大学用）

北海道大学，北海道教育大学，室蘭工業大学，小樽商科大学，帯広畜産大学，旭川医科大学及び北見工業大学（以下「連携大学」という。）は，本実施要項に基づき，2021年春準備教育大学院プログラム（英語名称 Preparatory Programme for Graduate International Students Spring2021）を共同実施する。

1. 目的

各連携大学の大学院入学直後及び大学院進学を希望する外国人留学生（日本人学生も受講可）が，それぞれの大学院で学修及び研究を行うにあたり，最低限理解しておくべき知識を提供することによって大学院への定着を促進し，円滑な正規課程への移行を支援する。

2. 実施期間

2021年5月24日（月）10：00～ 7月11日（日）23：59

3. 提供科目

本プログラムシラバス（別添3-1及び3-2）のとおり。

4. 実施形式及び使用言語

日本語及び英語で構成する教材を用い，オンラインで自習するeラーニング形式。

5. 受講対象者

下記（1）及び（2）を主たる対象としながら，（3）の受講も認める。

- （1）各連携大学の大学院に2021年4月に入学した外国人留学生
- （2）各連携大学に在籍し，大学院進学を希望する外国人研究生
- （3）各連携大学の大学院に2021年4月以前に入学した外国人留学生

※ 上記（1）～（3）について，日本人学生の受講も可

6. 募集人数

上限は設けない。

7. 受講申込及び受講方法

受講希望者は，所定のウェブサイトより，2021年4月8日（木）10：00～ 5月13日（木）13：00 の間に受講申込を行う。

<https://docs.google.com/forms/d/1HOKC19e51QBKpX1zeEtTbIod11zU4mRs-hLy5FdkwVQ/edit>

プログラム開始約1週間前を予定して，北海道大学より各連携大学へ eラーニングアカウントが記載された ID 通知書をメールにて送付，各受講者はそれを連携大から受領すると共に，各自事前に

eラーニング開始に係る説明動画を視聴した上でプログラムを受講する。説明動画の視聴方法等については、プログラム事務局より受講者本人へ直接案内する。

8. 費用

受講者負担：なし


連携大学負担：なし

北海道大学負担：教材作成にかかる講師謝金等プログラム実施に必要な経費

9. 個人情報の取り扱い

本プログラムを受講する学生の個人情報については、本プログラム運営の目的に限って利用する。

以上



2021年春準備教育 大学院プログラム シラバス

- ・ 研究倫理
- ・ 大学院生のためのアカデミックスキル

研究倫理

講師名	眞嶋 俊造（まじま しゅんぞう）
所属、職名	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授
講師紹介	<p>1975年、東京都生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業、同大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了、米シカゴ大学大学院社会科学部修士課程修了（MA）、英バーミンガム大学大学院グローバルエシックス研究所博士課程修了（PhD）。北海道大学大学院文学研究科応用倫理研究教育センター准教授、広島大学大学院総合科学研究科准教授を経て、2021年1月より現職。</p> <p>専門分野は倫理学、応用倫理学。特に国際関係における倫理的諸問題、また専門職倫理を研究対象としている。著書に、『正しい戦争はあるのか？—戦争倫理学入門』（大隅書店、2016年）、『民間人保護の倫理—戦争における道徳の探求』（北海道大学出版会、2010年）などがある。</p>
コース概要	本コースでは、研究や研究に関連した活動を倫理的に行うにあたり必要となる基礎的な考えや技術、また将来において直面するかもしれない倫理的問題を分析し、解決するためのツールを提示する。
コースの目標	本コースの目的は、研究や研究に関連した活動を倫理的に行うために必要となる基礎的な考えや技術を提供することにある。受講者は事例研究を通してそれらの考えや技術を身につけることが望まれる。
到達目標	<ul style="list-style-type: none">• 研究倫理を巡る様々な問題や論点について知識と理解を得ることができる。• 研究を行う上で直面するジレンマに対処するために必要な技術を身につけ、その実践を行うことができる。
平均学習時間	2時間

大学院生のためのアカデミックスキル

講師名、所属	北海道大学高等教育推進機構 高等教育研修センター ラーニングサポート部門
講師紹介	ラーニングサポート部門は北海道大学に設置されている学生支援組織の1つであり、授業外での学習相談やスキルセミナーの開催など、学生の主体的な学習を支える活動を展開しています (HP: https://lso.high.hokudai.ac.jp/)。
コース概要	本コースでは、大学院生が研究活動を行う上で必要なスキルについて解説します。本コースには次の3つのテーマがあります。 1. 研究テーマの設定 2. プレゼンの方法 3. 論文の構成と書き方 次のテーマは参考程度にご覧ください。 〈参考〉大学院での研究生生活
コースの目標	<u>1. 研究テーマの設定</u> 研究テーマを設定するための基本事項を理解します。 <u>2. プレゼンの方法</u> プレゼン準備の要点を理解し、スライドやポスターの作り方、話し方・質疑応答のコツを学びます。 <u>3. 論文の構成と書き方</u> 論文の基本的な構成を理解し、論理的な文章の組み立て方、学術的な文章の書き方を身につけます。 〈参考〉大学院での研究生生活 日本の大学院における研究環境、研究室のルールなどについて理解します。友好的で充実した研究コミュニティを形成するためのヒントとして役立ててください。

大学院生のためのアカデミックスキル

到達目標	<ol style="list-style-type: none">1. 研究テーマの設定<ul style="list-style-type: none">• 研究に必要な3つの条件を説明できる• 先行研究から、自分の研究の青写真を描くことができる• 先行研究を参考にして、具体的な目的・手法・材料を設定できる2. プレゼンの方法<ul style="list-style-type: none">• プレゼンを行う際に注意すべき点を説明できる• 見やすく、分かりやすいスライドを作成できる• 読むだけで理解でき、分かりやすいポスターを作成できる• 聞き手が理解しやすいように話することができる• プレゼン発表中の質問に的確に対応できる3. 論文の構成と書き方<ul style="list-style-type: none">• 導入、手法、結果、考察の4項目に基づき、論文を構成することができる• 目的と考察、結果と解釈を対応させ、論理的に話をまとめることができる• 帰納法と演繹法に基づき、議論することができる• トピック文とサポート文を並べて、学術的なパラグラフを作ることができる• ルールに則り、図・表を書くことができる• 第三者の情報を正しく引用することができる。
平均学習時間	<ol style="list-style-type: none">1. 研究テーマの設定 10分2. プレゼンの方法 30分3. 論文の構成と書き方 30分